

インターバンクの声（2016 年 1 月 6 日）

新年初取引日の 4 日は、アジア、欧州、ニューヨーク、ほとんど全ての株式市場が最悪の年明けとなったが、昨日は欧州やニューヨーク株式市場がどうかプラス圏で取引を終えている。ただ為替市場については、株式市場と同じような具合にはなっておらず、ユーロは昨年 12 月上旬に付けた 1.07 ドル台後半の水準を割り込み、英ポンドは昨年 4 月の最安値近くまで下落している。要するにドルがほとんどの主要通貨に対して強くなっているのだが、例外なのは対円の動きだ。4 日のドル安値水準 118 円 70 銭台はどうか割り込まずに済んでいるが、119 円台中盤での上値はいかにも重そう。今日のアジア時間も日経平均や上海総合指数の値動きを気にしながらの取引になりそうだが、中東情勢の地政学リスクを含めた今後の不透明感に加え、米国の年内の利上げ回数を占う鍵にもなりそうな米雇用統計発表も控えているとあって、簡単には上下どちらにも大きくポジションを傾けるのは難しそう。ドル円については、どうしてもドルが少し買われることがあれば、そこでドル売り参入するのが足許での安全策に見えてしまう。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。